（廿四日夕刊）

磐城新聞

休刊日　大祭第一第三日曜日
定價　一ヶ月五十錢　一枚二錢　郵稅拾錢
廣告料（雜報欄一行五十錢　場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社
電話五大四番

青年を救ふの道

宗敎的立場を與へよ

城山　高木光雄

思想問題といふ點から見れば現代程混亂した時代は恐らく少いと思ふだから現代の思想殊に現代青年の思想が果して如何なる性質のものであるかはその見きはめが至つて困難である

○

併しながら今こゝにその主なる特徴を指摘して見ると一、唯物的傾向二、自然主義的傾向三、個人主義的傾向の三方面に分つことが出來ると思ふ尤もこの三者は各別々なものではなくその根本には同一の考へ方が入つてゐるのであるが表面上の現れについていへば右の三點を示すことが出來る

○

而して第一の考へによりては物慾主義が現れて享樂的生活感官滿足のみが中心となりて生活の眞劍味がなく徒らに安逸を食つて生活に支離滅裂となつてしまふ第二の自然主義傾向によれば自然主義即ち本能感官の欲求にまかせるのであるから一切の束縛を嫌ひ外部の權威を認めない衝動のまゝ活動しやうといふのであつてその結果はやがて第一の主義と同じ性質のものになる第三の個人主義は如何といふにこれは社會や個人との有機的關係を知らないがために社會とか人生とかいふ自己以外の世界を顧みずたゞ自分の勝手氣儘に爲しやうとするのであるその自分といふのが既に全体としての社會から切り離された自分であるからやはり遂には前二者と同じ結果を取ることゝなるのである

○

然らば之等の思想は如何にその基調を一にしてゐるかといへば何れも自然人としての自己のみを問題として自己の中に理想が立てられてゐない點に歸着するのである故に之等の思想を改めて現代青年に高遠なる精神を與へんとすれば理想を目的とする生活即ち宗敎的立場を與へてやるの外はない宗敎は道德をふくみ藝術を生むものである現代青年は宜しくこの立場に立つて高所から社會や國家や人生を批判し內省の力によつて新し更に進んだ世界の建設を旨としなければならぬ國家社會の健全なる發達は一つに青年の確固たる信念にその基礎を有するのである

磐新顧問

（照台を歡迎す）

妹を他にやりて

妹　幼い時養女に遣つた家は相當財産もあつたのですが、養父死去後は思はしからず只今は無財産です、養母一人あるが、戸籍上養母の籍はなく、妹一人が戸主になつて居ります、それで三年以前先方の養母や私と相談の上、妹を他へ嫁せしめたのですが、其時は私方から嫁入せしめたので先方では細かい話は少しも知りませぬ、昨今入籍の事を申して來ますが、右樣の事情で送る事が出來ず心配しゐます、先方へ入籍出來る方法をお敎へ下さい　（愛讀者）

養母が入籍せられてないのは如何の事情からか判りませぬが、養母の入籍に差支へがないのならば養母を家督相續人に指定して、妹さんが隱居なされば婚姻によつて入嫁先へ入籍なさる事が出來ます。家督相續人に指定するのは養母に限らず適當の人ならば誰でもよいのですが完全の能力者でないと、隱居に就て裁判所の許可を受けなければなりませぬ、若し相續人を作らず、其家を廢家せんとならば其の地の區裁判所に廢家許可申請の手續を爲さるべきで、婚姻の爲の廢家は大抵許可せらるゝ事と思ひますが、夫れ等の手續をするに就て豫め其事情を夫に話して其諒解を得てからになさる方が後日の爲によからうと思ひます

明日の吉凶

舊曆四月二五日
新曆五月二五日

▲一白　心靜かなれば如何なる異變も無事に濟むべし▲二黑　輕卒に走るときは目上の信用を失ひ失墜す▲三碧　德を磨き行ひを正し律義一方に出づべき日▲四綠　沈みたる氣を引立て心を揃へて勵むべし▲五黃　表面美は捕はれ易し人の世話事は大凶たり▲六白　訴訟爭ひ事は凶なれど地味の事にはよき日▲七赤　よいがて調子に乘るな早まれば泥田に陷る▲八白　邪路は迷はず口舌を戒め內を固くすべし▲九紫　初めを愼しみ怠慢なければ末亦よかるべし

講談

血で血を洗ふ

(43)

高橋掬太郎創作
布施半八郎挿畫

怪しの人影

部神清左エ門の邸と下瀬主水の邸の間に物蔭に身を忍ばせて樣子をうかがつてゐた怪しの人影は主水が神部の邸から歸ると直ちに馬の用意をして何處かへ出かけて行つたのを見ると忽ち物蔭を離れて宙を飛ぶやうにしてやつて來たのは早間重太夫の邸であつた。

と玄關に入つて覆面を解くと共處へ取次ぎの下郎が灯をさしつけた

「おゝ寶部樣か――」

怖しの武士は寶部左內であつた。

「御在宅か？」

「お待ちかねでございます」

と直ぐに左內は案內された奧の一間早間重太夫は水島左門、吉村玄蕃、寺越軍平なぞと云ふ一味の者は密議を凝してゐた。

「御家老――」

「おゝ室部氏か待ちかねた、あゝこれへ――」

ずつと近くへ招く、つかつかと入つて重太夫の前に坐つた左內を見て

「して、如何でござつた？」

と重太夫は訊いた

「案の定御家老の仰せの通り神部の宅へ主水が招かれてござる」

「むゝ左樣であらう。それがなければ本日主水を出立させるべきを明朝にせよと待たせてゐたくと云ふのは神部が何事かを內密に含ませやうためなのぢや、して？」と次ぎを問ふた

「それより中に忍び込んで樣子を見やうとしましたが下郎の重助が見張つて居りまして忍び込むことが出來かねました」

それは殘念何んとかして二人の密談を聞きたいものじあつた。此の上は明日出立する前に二三人の腕利き者を先を廻りさせておいて途中に於て主水を斬つて捨てねばならぬ」

「いや主水は今夜のうちに出立致しました。神部の宅から急いで立ち歸へると直ぐに馬の用意をして旅仕度で何處かへ行きましたが大方今夜のうちに出立したのであらうと存じます」

「む、成程、奴等も味をやるわい。さては明朝出發さ思わせてゐて今夜のうちに出立させこつちを出し拔かうといふのだな。神部は實に油斷のならぬ奴ぢや今日の有樣と云ひ早くも我等のたくらみを察したのかも知れぬ」

重太夫の面は險しくなつた。

「如何にもそれに相違ござらぬ。して御家老のお考へは――？」

水島左門が問ふた

「さうち此の上は是非に及ばぬ、一刻、猶予かならぬ、直ちに下瀬主水の後を追つかけて途中に於て斬つてしまはねば、うつかりすると當方の惡事が露見する

「して、後を追ふ者は？」

と寺越軍平が訊いた。

「む、それは貴殿と吉村氏にお願いしやう。」

「承知致した」

寺越軍平と吉村玄蕃は同音に答へて立ちあがつた

此の寺越軍平と吉村玄蕃は二人とも浪人で重太夫の許に厄介になつてゐるのであつた。そして昌康君の家督領の一味に加はり成功の上は高祿で召抱ひられる約束になつてゐるのであつた、

「下瀬主水もなか〳〵の腕達者ゆゑ御油斷めさるな」

重太夫は注意した

「なんの事があらう」

と二人は豪語して馬に跨がるや闇中に驅け出した。

廣告

平町田町通り
磐城病院
電話二一四番

不思議な滋強靈液
養命酒

肺結核、肺炎カタル、ロクマク、性的不能、神經衰弱、不眠性、貧血症、婦人病等の特異靈劑なり、其偉効に實驗者は驚く賣行きの增大するを與て其眞價を立證せらる、惱み苦しむる人々の一大福音なり
此際是非御試用を切に勸む
定價　一、五〇　二、〇〇
代理店　山野邊藥局　平町五丁目角

株式賣買
諸株式の賣買に應じます
取引は迅速を第一とします
取扱は親切を旨とします
謹告
株式現物賣買
平町田町六八
駒場四郞商店
電話四六五番
電略（カネ）又ハ（ヨ）
（電話高價に買入した）
土地賣買金融の中介をします

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負　其他
佐藤材木店
常磐線平町　新川町
電話　三三五番

此一杯
より生れ出づる…
豐麗なる肉體美と
潑剌たる健康美!!

蜂印香竄葡萄酒

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
糸界の羅針盤糸紐週報御一報次第直送
電話浪花三五一番
振替東京三二四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方
磐城新聞社御出で下さい。委細面談

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價　二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

愛慾の嵐
○知らぬ間の　生殖機能衰弱
○危險なる　神經衰弱
○恐るべき　早老老衰

若い男女
血氣にまかせ不自然遂から性的精力の濫費をなすると、頭腦は次第に朦朧として、昔の神童も全く凡庸に化し、學業も事務能力も倦怠し、腦病、神經衰弱となつて、勇氣活力なく、又[illegible]な衰弱に襲はれて、終には人生行路の落伍者となり又妻を迎へても人生の幸福を感ぜず、早老的廢人となる外ないから今の內にトツカピンを服んで、精力を增進し、頭腦を明快に青春の歡樂を擧げつゝ立身成功と性の幸福を兩得せられよ

中年の危機
女のヒステリー、男の性慾の減退は三四十の働き盛りに最も多い生活の煩悶、肉體の過勞、酒、煙草、花柳病毒は知らぬ間に腦の中樞神經から生殖腺を犯かし、男は老朽して不能となり女は容色までも淋しくヤツレ、夫婦愛は冷くなり、家庭には風波が絕えず、事業にも生活にも失敗の苦杯を嘗めねばならぬから今すぐトツカピンを服んで精力を復活し、活動腦力を旺盛に、男さかり、女ざかりを延長して、處世の雄者、精力の勝利者となられよ

老ひたる人々
生殖腺の內分泌作用は智能、感情、精力、すべての源泉をなし、生殖機能が旺盛ならば、年を取つても體力が衰らず、白髮にもならず、姿勢、容貌、視力、聽力すべて若々しく、精力絕倫、青年的氣分を失はず、晚年の悅樂を全うし得るのであるから須らく秘藥トツカピンを服んで、老衰者も元氣旺盛となり松柏の綠蒼々たるが如く永く強く幸福を體驗せられよ。

健康男女
トツカピンを知らねば時代遲れである、トツカピンを服まぬ人は現代生活の落伍者となる、朝服んで其日の活動の爲に、晚に服んで安眠幸福の爲に――一錠百倍の絕大的精神氣分を體驗せられよ、幸福成功の秘訣である。

生殖機能營養劑
トツカピン

戸塚醫學博士推獎

定價　[illegible]

發賣元　丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八　振替口座東京七二二一番
大阪西區立賣堀北通二ノ九　振替口座大阪一〇六番
◎全國到る處の有名藥店にあり

賭博にも手を入れ 風紀も嚴重に

やつと落ちついた様な 樫村平署長の談

過般磐城炭礦の爭議事件を皮切りに或は入山に藤原に目まぐるしい程の爭議が勃發し漸く解決したと思へば其の際に湯本、平、草野、四倉等に大盜の横行或は白水の五人殺事件磐城、入山に未曾有の變災事件等數へ上るだけでも容易でない程打續く**大事件の**勃發に今春初めから多忙を極めてゐた平署は去る十九日の入山爭議團の慘敗を最後としてバツタリ火の消えた様な靜さに返り樫村署長以下の署員も滿五ケ月振りでどうやらホツとした様に各々も本署の椅子に腰を下したが樫村署長は語る「大分大きな事件が續いたので皆さんにも大分御心配をおかけした卅幾日か振りで歸署して此の二三日は全くコソ泥棒さへもない平靜さでどうやら人心地を取返へした様な氣持がする當分は此の**平靜さを**續けさせたいもので打續く大事件の勃發で炭礦方面は勿論一般にも相當警戒の手が緩んで居たためか賭博なぞが大分流行して居る様であるから此の方面にも嚴重な取締をなし風紀も大分亂れてゐる様だから犯罪防止の一面此の方面にも出來るだけ手を廻す方針」だと語つて居た

百五十萬圓を超す 本郡の國稅負擔

一人平均八圓に當る 滯納金は約一割

石城郡内七町卅三ケ村に於ける昨年度の國稅調定額は所轄平稅務署に於て此程調査を了したがその内譯を聞くに

稅目	稅額（單位）
所得稅	一七一、五九八
地租	一六一、八七五
營業稅	六七、五九一
資本利子稅	一〇、六六三
相續稅	八、四四〇
鑛業稅	二九、三六六
酒造稅	八〇五、七七五
醬油稅	四、三二一
清涼飲料稅	一、七二三
織物稅	一、四六八
營業收益稅（新法適用）	

でその合計實に百五十四萬二千五百六十四圓の巨額に達してゐる而してこの内には鑛業稅等もあるの大体の趨勢を察知するに足らぬが試みに之を郡内の現住戶數三萬三千戶に割當ると一戶平均四十六圓七十四錢强に當り更に人口約二十萬人割當ると一人當り七圓七十一錢三厘弱に當つてゐる、因に同署四月末日現在の滯納稅は鑛業の不拂が齎した鑛業稅十四萬三十餘圓を筆頭に所得稅七百四十五圓地租八百六十九圓營業稅百七十九圓等この合計は前記昨年度分調定額の約一割に近い金額に達してゐる

十八人十色

……（二）……

去りにし女を戀ふ 憐れな武門の落人

映畫宣傳の先頭を承る 吉田さん利生記

俗稱「吉田アンマ」君は何と云つても平町での名物男たる價値を失はない、粹な藝妓衆なぞが彼れを「吉田さん」と呼ぶのは尊稱よりも寧ろ嘲笑に近く、その多くは「吉田アンマ」と云ふ

然かも世が世なら身は平藩の家老、吉田連豊士の長男である彼れを何故なれば「アンマ」と呼ぶのだ、殊に彼れの目は御覧の通り顏面の約半分を占めてゐる程に大きいではないか、然しそうした故事因緣は扨ておき吉田君の正しき名を知る人ぞ知るであらう

抑々彼れは明治十九年舊三月三日平町字田町五十三番地に孤々の聲を揚げ、父連豊氏から「吉田豊美」と命名された、何の不運が母に先たゝれ、父に死に別れてから四十二才の今日まで田町通りに實弟豊君と二人でサヽヤカな生活を續けてゐる

然かも既にいわゆる而立を超へた四十二才の豊美君が小供の樣に笛を吹きながら街頭をさまよう姿、破けたゴム靴をはき水ツバナを垂らしながら活動寫眞宣傳隊の先頭を承つて旗を持ちまわるその勇姿は、讀者にとつて今更ら目新らしいものではない、

吉田さんと呼べば彼れは不思議そうなまなざし……團十郎もどきの目ツつきをして睨らむ、それはどこまでも子供の樣に……オイラネ、子供が大好きナノと曰る、實際彼れ吉田君は神の樣に子供の樣に純眞なのだ

然しそうかと思ふと時には弟豊君の買つて來てたく引鮭の切れ身なぞ不勞所得をしては、命にかかわる程の大喧嘩をぶちまくるかと思ひば、時々は道交ふ人ヒヤカされては「オラー谷口のみどりさんヨ」と既に行き去りし谷口樓の藝妓「みどり」姐さんを思ひ出しては夢のような淡い戀を偲ぶのだ、

去りにし者を未だ思ひきらめも得ず、惱みをいだく彼れ吉田君の純眞さよ……唯れか清盛の寵愛を一身に受けながらも世をはかなみ、死んで行つた白拍子を偲ばざらんやだ。

トンネル内に 男の轢死体

覺悟の自殺か

四倉町鞍拔山トンネル入口の鐵道線路に二十四日午前五時頃一個の轢死体を發見屆出により四倉署員檢視したが年令五十歲前後勞働者風の男で所持品なく何れの者とも判明しないが覺悟の自殺らしく死体は町役場に引き渡した

經過も頗る良好に 郡下の春蠶況

掃立ては減じても 收入は案外良好

石城郡下今年の春蠶掃立は例年よりやゝ減少した事は前報の如くであるが當初から憂慮されてゐた桑の發育は意想外の良好で掃立減と相俟つて近年一寸見られなかつた桑の過剩と言ふ珍現象を見せてゐる、桑の發育を氣支つて居た當業者の喜は非常である右に就いて郡養蠶同業組合では糸安ため幾分**手控をし**たために桑の過剩を見る様になつたが無理をしてゐなかつただけに夏秋蠶時になつても桑は相當潤澤であらうと豫想してゐるが尙ほ目下の蠶況は郡南山田、田八、入遠野、上遠野方面は早きは三令四五日目乃至二眠一般は三眠令中のものが多く、中には既に三眠起き一日二日目位いで全般を通じて頗る順調な經過を見せてゐるが糸安に祟られた**昨夏秋蠶**の後を承けた今春蠶は全國的に消極方針に進んだらしいから必然的に糸價が高騰するであらうし春蠶を出來るだけの手控をして居ただけ今夏秋蠶の如きも春蠶同樣に相當の高値を見せるものと想はれて居るから當業者の實益は積極的に進んだ前年度より消極方針の今年度の方が幾分有利であらうとさへ觀測されてゐる

勿來町の海岸に 若い瀕死の女

情夫の鮮人利文秀が 嫉妬からの兇行

石城郡勿來町字關田海岸の松林に手足を縛された髮を振り亂した女の撲殺死體が横たはつて居るのを發見したものより急報に依つて王城炭礦の爭議の爲めに出張して居た**植田署員**急行して取調ると女は死に切れずかすかに苦悶の息を吐いて居た直ちに眞相を調べると同女は勿來に居住して居る遠藤フミ（三三）で朝鮮人利文秀遠藤文雄（二六）の情婦である事が判明し犯人は文雄と痴情の結果ならんと同人の行衛を尋ねて逮捕したがその自白に依り同人を殺人未遂として檢擧した文雄はフミ子が他に**情夫關係**があるものと邪推し關田の松原にて折檻する積りで手足を縛し棍棒に毆打したのであるがフミが人事不省に陷つたを絕命したものと思ひ込みその儘歸宅し高飛びの準備中を捕はれたのである

非常な人氣の 珍鳥猫八

今夜から愈々 平劇場に公演

英國皇太子殿下より「汝は世界の珍鳥なり」と賞讃された江戸名物の猫八は各地とも非常な人氣を喚び至る所で猫八後援會が組織されてゐるがいよ〳〵此の當の猫八一行十名は今二十四日夜より平劇場に於て公演する事となつた、此の報一ト度び傳はるや平町上下の人氣は非常なもので既に座席の前約申込み等もあり、東京でなければ見られぬ猫八を居たまま見ようとする愛好家で開演中は滿員を豫想されてゐる、同一行には落語あり、新內あり、落語に踊、萬歲に音曲手踊、女流浪花節から自轉車の曲乘り等盛り澤山で殊に猫八の滑稽問答はまさに天下一品で如何なる難問題も即座に答へ若し觀客からの質問にグツと詰つたら罰金米一俵を即座に渡すと云ふので人氣の渦を卷き前興行の福島でも割れる樣な大入りで「一眼で見て聞くと是れ如何に」なんぞの珍問も出たとあり今からねこ八を困らしてやらうとより〳〵珍問難問の研究中であると云ふから今晚からねこ八の平劇場は非常な大入りであらうと豫想されてゐる

（寫眞はネコ八）

入山の空長屋から 昨夜半の怪火

放火と睨みを付け 平署で犯人搜査

昨廿三日午後十一時半頃湯本町入山炭礦第四坑二十六號の一長屋から發火したのを附近の者が發見大事に至らずして消し止めたが同長屋は過般から空家になつてゐるため絕對失火とみるべき筈なく何者かが放火したものと睨み時節柄だけに平署では犯人の嚴探中である

自殺女家出

病氣を悲觀し

石城郡江名町大字江名豊吉妻吉田ヒサ（三五）は去る十四日午後十時頃家人の寢靜まるを見て家出し行衛を晦ましたので附近の者が總出で八方搜査中であるが同人は自殺の慄れがあり、二十三日平署まで搜査方を願ひ出て來た、ヒサは數年前から病氣に罹り最近に至つて病勢俄に昂進し全快の見込みがないのを悲觀して自殺の目的で家出したものらしい

鮮人土工が 子供を誘拐

平署へ捜査願

石城郡赤井村神田仙太郎方居住ホテルの長男川俣一男（四）は去る二十一日午前九時頃自宅前で遊戲中勞働者風の朝鮮人が來てなれ〳〵しく言葉をかけて遊んでゐたが、テルが一人で仕事をしてゐる中行方がわからなくなつたので大騷ぎとなりテルは狂氣のやうになつて平署に出頭搜査方を願ひ出たが未だに行衛不明で、附近に働いてゐる朝鮮人を調て見ると同日土工金單璉事林金太郎（三五）が姿をくらましたので或ひは同人が何處かに連れ出したものではないかと平署で嚴重調査中

休山を仄めかされ 爭議團足並崩る

無條件で就業するらし 其後の王城炭礦

石城郡川部村王城炭礦の勞働爭議は爭議團より提出した待遇改善案十九ケ條の中十三ケ條は會社側で承認する處となり最低賃銀の確立退職手當制の設定等殘り六ケ條の要求事項につき依然持久戰の形で紛爭を續けてゐるが會社側の態度强硬よれば廿七日から休山するもいとはないといつてゐるので爭議團では面くらひ日本勞働組合同盟望月源治日本坑夫組合加藤勘十兩氏は會社側の內容調査を仙臺鑛山監督局に陳情し目下調査中で加藤氏は二十一日王城へ出頭爭議團幹部と對策につき協議を進めてゐるが結局無條件就業で近くけりがつくものと見られてゐる

壯丁旅費整理

平町役場兵事係では目下本年度壯丁の本籍地へ歸省し受檢せる者に支給すべき旅費の整理に着手してゐるが之れが全部を終る迄には今後三週間位を要する見込で未だ其總額は判明してゐないが前年に比し歸省壯丁は約二割位增加してゐたから前年の總額九百圓に比し千圓を突破するものと見られてゐる

上州茂林寺の 文福茶釜

平町で公開

文福茶釜は日本古來の傳說中で最も名高い一つであるが今般東京兒童教育研究會主催で上州館林茂林寺の寶物文福茶釜を公開する事となり廿五日午後一時より在平公私立女學校生徒廿六日平中學、商業、佑賢、廿七日平第一小學校、第二小學校同日午後六時より平劇場に於いて一般に公開すると

▲戀同志三角喧嘩▲

電話の殺人事件に 平署口あんぐり

平町字新川町の鈴木某方から二十二日夕刻平署に今殺人未遂犯人がゐるからすぐに來てもらひたいとの電話があつたので署から刑事が急行して取り調べたところ戀愛の三角關係から亂痴騷ぎをしてゐることが判明した、同所の佐藤某は妻ハツ（三假名）を昨年中離婚してゐたが、その中平町字六丁目鈴木某と戀仲となりいろ〳〵な噂が立つたので佐藤は大いに憤慨し二十二日ハツ子が義兄方に歸つたのを幸ひ同人を捕へてその不心得をせめたところ丁度鈴木が同家をたづね更に鈴木の妻も來た爲め話がもつれて四人の者が爭論を始かのハツ子が佐藤のために毆打されたので氣をもんだ鈴木が平署に電話を掛けたことが判明同人等は何れも嚴重說諭された

公私往來

鈴木辰三郎氏（前縣議）二十二日朝出福今明中歸平の豫定

小野晋平氏（縣議）出福中の處二十三日夜歸平

草野順平氏（縣議）出福中の處二十二日歸平

白井博之氏（農銀頭取）來平中今二十四日午前九時にて小名濱行

郡司次郎氏（田村郡有志）同上

柏木哲氏（いはらき支局長）同上

かみくづ

▲假りに惚れ合つた男女の相手の藝妓が末の契りを堅く結んで、年期の明くまで東京に住替へた、然るに何ぞ夢にも忘れ得ない戀しい男は僅か半年のうちに外の女と同棲してゐるではないか▲サアその時だ、お千代子お前ならどうするネ、ナニ女の一念思ひ知れッとその二人を殺してやるわ……淸奴お前はどうする、妾しはその男よりもつと〳〵立派な男と一所になつて顏を見返してやるわ……▲お鯉お前は大變考へてるがその時はどうするネ、私はその二人が永久に樂しく暮せる樣に祈つてるわ、ナル程お鯉お前は偉ね、その云ふ事がこつてゐらあ「自分の愛人が樂しいと思つてゐることを妨げる、忍びない」と云ふのがもうそうなれば戀の極度なのだ、熱烈を超越した平靜な戀だ丸でそうなれば人間愛ではなくて廣大無邊な神樣の愛だ、お鯉お前はやつぱり悧巧だ。

初夏の仕度を
靑葉若葉のシーズンに相應しい
本年流行のお仕度は
是非三井の新館陳列品を御覽の上
におきめ下さい……
□人絹應用織物各種
□嶄新柄本セル各種
□新型美術洋傘各種
三井呉服店
平町三丁目
電話三十八番

嶄新輕快ナ
小供麥帽
麥一文字帽
流行の粹
婦人洋傘
男子用絹張傘
着心地ヨク實用的ナ
富士絹ワイシヤツ
ゼハープリント各種
に
鶴屋洋品店
平町四丁目
電話百四十番

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平 南町
上田外科醫院
電話一二九

故父園次郎儀葬送の際は遠路態々御會葬下被成御芳志の段恭なく奉存候實は一々拜趨御禮言上申上可の處略儀紙上を以て御厚禮に代申候

昭和二年五月二十四日

男
小野和七
小野銀藏
小野善七
井坂大造
永山久吉
勇吉
小野昇

親戚總代
松崎長太郎